

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

信州大学 工学部 土木工学科

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成21年5月1日現在

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	8
4	教員組織の状況	10
5	その他全般的事項	11

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒380-8553

長野県長野市若里四丁目17番1号

(〒390-8621 長野県松本市旭三丁目1番1号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 土木工学科 学士(工学)	年 4	人 45	3年次 人 2	人 184	

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	()人	(-)人 45	(-)人 45	()人	1.06倍	
	志願者数	()	(-)167	(-)168	()		
	受験者数	()	(-)134	(-)142	()		
	合格者数	()	(-)52	(-)53	()		
B	入学者数	()	(-)47	(-)49	()		
	入学定員超過率 B/A	()	(-)1.04	(-)1.08	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[]	[1] 47	[-] 49	[]		
2年次	[]	[-] 0	[1] 46	[]		
3年次	[]	[-] 0	[-] 0	[]		
4年次	[]	[-] 0	[-] 0	[]		
計	[]	[1] 47	[1] 95	[]		

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [0] 1	計 [1] 47	[0%] 0.0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 47人	
	(主な退学理由) 進路変更(他大学受験)1		
平成21年度	計 [0]	計 [1] 96	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 47人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 49人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 土木工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	(A. 環境と人間)												
	環境の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	環境と社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	環境と技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	(B. 精神と文化)												
	思想と表現	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	言語と文化の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	(C. 世界と地域)												
	国際社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	日本社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	歴史と現代社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	(D. 生命と物質)												
	人間の生と行動	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	動物と植物	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	物質の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	地球と宇宙	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	(E. 知の継承と発展)												
人文・社会科学の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2										
数理の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2										
学際と先端の科学・技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2										
基礎科目	外国語	1前後	4										
	英語	2前後	4										
	学健康科目	キャンパスライフと健康	1前	1									
	情報科目	情報科目	1前後	2									
	ナ新入生ゼミ	新入生ゼミナール	1前	2			2	5		2		平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)	
	基礎科学科目	微分積分学	1前後	4									
		線形代数学	1後	2									
		線形代数学	2前	2									
		物理学(力学)	1前	2									
		物理学(電磁気学)	2前	2									
		物理学実験	1後	2									
化学	1前	2											
化学実験	1前後	2											
生物学	1前後	4											
生物学実験	1後	2											
地学概論	1後	4											
地学実験	1前後	2											

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	日本語・日本事情・日	日本語 日本事情科目	日本語	1前後・2前後・3前後・4前後		6									
			日本語 日本事情	1前後・2前後・3前後・4前後		12									
専門科目			応用数学Ⅰ	2前		2									
			応用数学Ⅱ	2後		2									
			応用数学Ⅲ	3前		2									
			確率・統計	2後		2									
			解析力学	2前		2									
			基礎物理学	2前	2			1							
			基礎数学	2前	2				1						
			地域の分析と計画	2前	2					1				教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)	
			地域の分析と計画演習	2前	1							1		平成20年度に教員が昇進したため(21)	
			構造力学Ⅰ	2前	2				1					平成20年度から教員が未昇進のため(21)	
			構造力学Ⅱ	2後		2				1					
			構造力学Ⅰ演習	2前	1							1		教員が昇進したため(21)	
			基礎水理学	2前	2					1					
			応用水理学	2後		2				1				教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)	
			基礎水理学演習	2前	1							1			
			土の力学	2前	2				1						平成20年度から教員が未昇進のため(21)
			地盤の力学	2後		2				1				教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)	
			土の力学演習	2前	1							1			
			社会資本計画学	2後		2			1						
			卒業研究	4通年	10				5	5		3			
			社会環境工学	1後	2				2	6		0			
			土質・水環境実験	3前		1			5	5		3		平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)	
			コンクリート・構造実験	3前		1			2	2		1			
			建設構造物設計製図Ⅰ	3後	1				1			1			
			建設構造物設計製図Ⅱ	4前	1				1						
			構造設計学	3前		2			1						
			地震工学	3後		2			1						
			橋梁工学	3後		2			1						
			河川工学	3前		2					1				
			上下水道工学	3前		2					1				
			地水環境工学Ⅰ	2後	2				1						
			地盤工学	3後		2					1				
		都市・地域環境計画	2後	2				1				1	平成20年度から教員が未昇進のため(21)		
		空間情報学	2後	2				1	1				平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)		
		景観分析論	3前		2					1					
		交通計画	3後		2					1					
		交通システム論	3前		2					1					
		建設マネジメント	4前		2			1	2						
		コンクリート工学Ⅰ	3前		2			1							
		コンクリート工学Ⅱ	3後		2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	環境生態工学	4前		2			1					
	地圏環境学	3後		2			1					
	数値計算法	3後		2			1					
	地水環境工学Ⅱ	3後		2		1						
	環境保全工学	2後	2				1					
	海岸・湖沼工学	3後		2			1					
	防災システム論	4前		2		2	1					
	特別演習Ⅰ	3後		1		1	2		3			
	特別演習Ⅱ	3後		1		1	2		3			
	総合演習	3前	1			1	2		3			
	空間情報実習	3前		1		1	1		1			
	地域計画	3後		2								
	応用統計学	3前・4前		2								教員の退職により科目を廃止したため(21)
	量子物理	2前・3前・4前		2								
	物理学実験	2前後・3前後・4前後		1								
	特許実務概論	3前・4前		2								
	経営工学第1	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学第2	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	現代技術論	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	労働安全	2集中・3集中・4集中		2								
	環境マネジメントシステム	2集中・3集中・4集中		2								
	地域環境演習	2前・3前・4前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
環境内部監査実務	2前・3前・4前		2									
学外特別実習	2通年・3通年・4通年		2									
ボランティア特別実習第1	2通年・3通年・4通年		1									
ボランティア特別実習第2	2通年・3通年・4通年		1									
学外特別講義第1	2通年・3通年・4通年		2									
学外特別講義第2	2通年・3通年・4通年		2									
学外特別講義第3	2通年・3通年・4通年		2									

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 27	科目 74	科目 0	科目 101	科目 27	科目 74	科目 0	科目 101	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	応用統計学	2	3前・4前	専門	選択	担当教員の退職のため。代替措置無し
2	経営工学第1	2	4前	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
3	経営工学第2	2	4後	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>・応用統計学 高年次生を対象とする発展的な内容の選択科目であり、廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。</p> <p>・経営工学第1及び経営工学第2 経営工学第1・第2の内容を統合した「経営工学」を新設しており、廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。</p>
--

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
医学部						0.99	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
医学科	6	110		605	学士(医学)	0.99	昭和26年度			
保健学科	4	143	3 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度			
人文学部						1.08	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
人間情報学科	4	80	3 5	330	学士(文学)	1.07	平成7年度			
文化コミュニケーション学科	4	75	3 5	310	〃	1.08	〃			
教育学部						1.03	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口		
学校教育教員養成課程	4	210		840	学士(教育学)	1.03	平成11年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	〃	1.06	〃			
生涯スポーツ課程	4	30		120	〃	1.05	〃			
教育カウンセリング課程	4	20		80	〃	1.07	〃			
経済学部						1.11	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
経済学科	4	125	3 20	540	学士(経済学)	1.10	〃			
経済システム法学科	4	60	3 10	260	〃	1.14	平成7年度			
理学部						1.05	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.06	平成7年度			
物理科学科	4	35		140	〃	1.03	〃			
化学科	4	35		140	〃	1.11	〃			
地質科学科	4	30		120	〃	1.05	〃			
生物科学科	4	30		120	〃	1.06	〃			
物質循環学科	4	25		100	〃	1.05	〃			
各学科共通			3 10	20		0.92				
工学部						1.06	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度から学生募集停止	
機械システム工学科	4	80		320	学士(工学)	1.06	平成10年度			
電気電子工学科	4	95		380	〃	1.04	平成元年度			
社会開発工学科	4	—		—	〃	—	〃			
土木工学科	4	45		90	〃	1.06	平成20年度			
建築学科	4	50		100	〃	1.08	〃			
物質工学科	4	60		240	〃	1.08	平成10年度			
情報工学科	4	90		360	〃	1.05	平成元年度			
環境機能工学科	4	50		200	〃	1.09	平成10年度			
各学科共通			3 20	40		1.15				

農学部						1.02	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.03	平成9年度		
森林科学科	4	61		244	"	1.03	"		
応用生命科学科	4	52		208	"	1.01	"		
各学科共通			3	20		0.90			
			10						
繊維学部						1.10	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	
応用生物科学科	4	—		—	学士(農学)	—	昭和60年度		平成20年度から学生募集停止
繊維システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成7年度		"
素材開発科学科	4	—		—	"	—	昭和63年度		"
機能機械学科	4	—		—	"	—	昭和61年度		"
精密素材工学科	4	—		—	"	—	昭和62年度		"
機能高分子学科	4	—		—	"	—	昭和53年度		"
感性工学科	4	—		—	"	—	平成7年度		"
先進繊維工学課程	4	30		60	学士(工学)	1.09	平成20年度		
機能機械学課程	4	30		60	学士(工学)	1.16	"		〔創造工学系〕
感性工学課程	4	30		60	学士(工学)	1.13	"		
応用化学課程	4	37		74	学士(工学)	1.10	"	38名(1.02)	〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。 なお、左欄の数字は、平成20年度入学生(1年次留年者6名は含まない。)の所属課程別人数及び定員超過率である。
材料化学工学課程	4	37		74	学士(工学)		"	40名(1.08)	
機能高分子学課程	4	36		72	学士(工学)		"	40名(1.11)	
バイオエンジニアリング課程	4	25		50	学士(工学)	1.07	"		〔応用生物学系〕 3年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
生物機能科学課程	4	25		50	学士(工学)		"		
生物資源・環境科学課程	4	25		50	学士(農学)		"		
各学科共通			3	20		1.05			
			10						

- (注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。
(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<工学部 土木工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	5		3	13		3	9		3	15		
(3)	(8)	()	(5)	(16)	()	[Δ2]	[4]	[]	[0]	[2]	[]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：Δ1）

5 その他全般的事項

<工学部 土木工学科>

情報提供に関する事項

① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年8月20日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/setup/>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年7月中)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/setup/>)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

信州大学 工学部 建築学科

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成21年5月1日現在

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 建築学科 学士(工学)	年 4	人 50	3年次 人 2	人 204	

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	()人	(-)人 50	(-)人 50	()人	1.08倍	
志願者数	()	(-)265	(-)167	()		
受験者数	()	(-)204	(-)138	()		
合格者数	()	(-)58	(-)62	()		
B 入学者数	()	(-)53	(-)55	()		
入学定員超過率 B/A	()	(-)1.06	(-)1.1	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[]	[1] 53	[2] 55	[]	
2年次	[]	[-] 0	[1] 53	[]	
3年次	[]	[-] 0	[-] 0	[]	
4年次	[]	[-] 0	[-] 0	[]	
計	[]	[1] 53	[3] 108	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [0] 0	計 [1] 53	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 53人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 0	計 [3] 108	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 53人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 55人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 建築学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)											
	環境の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	環境と社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	環境と技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(B. 精神と文化)											
	思想と表現	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	言語と文化の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(C. 世界と地域)											
	国際社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	日本社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	歴史と現代社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(D. 生命と物質)											
	人間の生と行動	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	動物と植物	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	物質の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	地球と宇宙	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(E. 知の継承と発展)											
人文・社会科学の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
数理の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
学際と先端の科学・技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
基礎科目	外国語	英語	1前後	4								
		英語	2前後	4								
	学健科康目科	キャンパスライフと健康	1前	1								
	情報科目	情報科目	1前後		2							
	ミ新科目ナ入生ゼ	新入生ゼミナール	1前	2			4	5	5	1	3	教育課程の充実を図るため授業計画を変更したため。平成20年度から教員が未補充であり、一部教員が未昇進のため。(21)
	基礎科学科目	微分積分学	1前後	4								
		線形代数学	1後	2								
		線形代数学	2前	2								
		物理学（力学）	1前	2								
		物理学（電磁気学）	2前		2							
		物理学実験	1後		2							
		化学	1前		2							
		化学実験	1前後		2							
生物学		1前後		4								
生物学実験		1後		2								
地学概論	1後		4									
地学実験	1前後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	日本語	1前後・2前後・3前後・4前後		6								
	日本事情	1前後・2前後・3前後・4前後		12								
専門科目	応用数学Ⅰ	2前	2									
	確率・統計	2後	2									
	応用数学Ⅱ	2後		2								
	応用数学Ⅲ	3前		2								
	解析力学	2前		2								
	建築構造力学第1	2前	2			1						
	建築構造力学第2	2後	2				1					
	建築構造力学第1演習	2前	1			1	1					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(21)
	建築構造力学第2演習	2後	1			1	1					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(21)
	建築材料力学	2後	2			1						
	鉄筋コンクリート構造	3前	2			1	1					
	鋼構造	3前	2			1						
	建築地盤工学	3後		2			1					
	建築環境工学第1	2前	2				1					
							1					
	建築環境工学第2	2後	2					1				平成20年度に教員が昇進したため(21)
		3前										
	建築設備第1	2後	2				1					教育課程の充実を図るため配当年次を変更したため(21)
	建築設備第2	3後	2				1					
		2後								1		
	音響設計	3前	2				1					教育課程の充実を図るため配当年次を変更したため。退職により教員を変更したため(21)
	都市環境工学	3前	2				1				1	
	建築計画第1	2前	2					1				平成20年度から教員が未昇進のため(21)
	建築史第1	2前	2				1					
	建築保存再生論	3前	2				1				1	
	建築設計製図第1	2前	2				1	2			1	平成20年度から教員が未補充のため(21)
											2	
	建築設計製図第2	2後	2				1	2			1	平成20年度から教員が未補充のため(21)
	建築設計製図第3	3前	2				2	1			1	
	建築設計製図第4	3後	2				2	1			1	
	卒業研究	4通年	10				5	5			3	
							1	1		2	2	教育課程の充実を図るため授業計画を変更したため。平成20年度から教員が未補充であり、一部教員が未昇進のため。(21)
都市と建築	1後	2				5	5			3		
木質構造	2後		2				1					
建築構造材料実験	3後		1			1	2			1		
防災工学	3後		2				1					
建築構造設計	3後		2			1						
振動学	3前		2				1					
	3後					1						
建築環境工学演習	2後		1				1			1	教育課程の充実を図るため配当年次及び教員を変更したため(21)	
	3後					1						
建築設備演習	2後		1				1			1	教育課程の充実を図るため配当年次及び教員を変更したため(21)	
都市・地域環境計測	3後		2				1					
都市環境工学演習	3前		1			1				1		
						1						
建築情報工学	2前		2				1				平成20年度に教員が昇進したため(21)	
建築環境工学実験	3前		1			2	1			1		

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築デザイン論	2後		2		1						教員が昇進したため(21)
	建築計画第2	3前		2		1			1			
	建築史第2	2後		2				1			平成20年度から教員が未昇進のため(21)	
	地域計画	3後		2			1					
	建築設計製図第5	4前		2		2	1			1		
	建築法規	3前・4前		2			1					
	建築施工学	3前・4前		2			1					
	地圏環境学	3後		2								
	地水環境工学I	4後		2								
	応用統計学	3前・4前		2							教員の退職により科目を廃止したため(21)	
	量子物理	2前・3前・4前		2								
	物理学実験	2前後・3前後・4前後		1								
	経営工学第1	4前		2							教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)	
	経営工学第2	4後		2							教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)	
	経営工学	4前		2							教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)	
	現代技術論	4後		2							教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)	
	特許実務概論	3前・4前		2								
	労働安全	2集中・3集中・4集中		2								
	環境マネジメントシステム	2集中・3集中・4集中		2								
	地域環境演習	2前・3前・4前		1							教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)	
	環境内部監査実務	2前・3前・4前		2								
	学外特別実習	2通年・3通年・4通年		1								
	ボランティア特別実習1	2通年・3通年・4通年		1								
	ボランティア特別実習2	2通年・3通年・4通年		1								
	学外特別講義第1	2通年・3通年・4通年		2								
	学外特別講義第2	2通年・3通年・4通年		2								
学外特別講義第3	2通年・3通年・4通年		2									

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
33	64	0	97	33	64	0	97	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	応用統計学	2	3前・4前	専門	選択	担当教員の退職のため。代替措置なし
2	経営工学第1	2	4前	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
3	経営工学第2	2	4後	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>・応用統計学 高年次生を対象とする発展的な内容の選択科目であり、廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。</p> <p>・経営工学第1及び経営工学第2 経営工学第1・第2の内容を統合した「経営工学」を新設しており、廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。</p>
--

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

4 教員組織の状況

<工学部 建築学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	5	0	3	13	0	5	2	2	2	11	0	
(4)	(3)	(2)	(2)	(11)	(0)	[0]	[Δ3]	[2]	[Δ1]	[Δ2]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：Δ1）